

令和 2 年度
社会福祉法人天童市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人天童市社会福祉協議会

～ 共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童 ～

<http://www.tendo-shakyo.or.jp>

目 次

1	総括	1
2	重点項目	2
3	事業概要	
(1)	地域福祉事業・ボランティア活動の推進	3
(2)	生活困窮者自立支援事業・各種相談援助事業の実施	1 1
(3)	共同募金活動	1 6
(4)	天童市地域包括支援センター中央の運営	1 8
(5)	介護サービス事業所の運営	2 5
(6)	天童市総合福祉センターの管理・経営	2 7
(7)	法人組織の管理・運営	3 0
4	別表 1	
	令和 2 年度天童市総合福祉センター利用状況	3 4

総 括

近年は、少子・高齢化の進行や人間関係の希薄化などにより、人々が直面する生活課題や福祉課題が多様化・複雑化しています。

こうした社会情勢の中で、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に見舞われ、いわゆる「三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避けるとともに、マスクの着用や身体的距離の確保など、「新しい生活様式」を実践しながらの活動となりました。感染防止のため、飲食や接触を伴う交流や大人数が集う各種事業の実施が困難な状況となり、本協議会としても、一部事業を休止するなどの対応を取らざるを得ない状況で経過しました。

一方、令和2年3月に策定した「第二次天童市地域福祉活動計画」では、4つの基本目標である「地域福祉ネットワークの充実」「相談支援・生活援助活動の強化」、「ボランティア・福祉活動の普及啓発」、「地域共生社会実現に向けた体制整備」に取り組むことにしています。実施初年度である本年度は、感染予防対策を徹底しながら、市民生委員・児童委員や福祉、行政関係者などをはじめ、地域のみなさんの御理解と御協力のもと、生活や福祉に関わる事業を可能な限り実施し、さまざまなニーズに対応しました。相談支援や見守り、介護予防、訪問サービスなどを継続し、地域で支え合える体制づくりを目指しました。

市生活自立支援センターの運営については、コロナ禍の影響による生活困窮者からの相談が激増しました。一時的な資金が必要な方に対しては、生活福祉資金のコロナ特例貸付や住居確保給付金などを活用した支援を行いました。さらに、様々な課題を抱える相談者に対しては、課題の分析やニーズの把握、自立支援計画の策定などを行い、包括的な支援を行いました。また、多機関協働による包括的支援事業については、介護や障がい、育児、生活困窮など、複合的な問題を抱えた方に対して、関係機関との調整を行い、相談者に合わせた適切な支援を行いました。さらに、成年後見センターを開設し、相談事業をはじめ、家庭裁判所への申立て支援や周知活動を実施しました。

介護保険事業所については、高齢者と障がい者の居宅及び訪問介護について、利用者の立場に立ったサービスの提供や拡大に努めるとともに、特定事業所の指定を維持することで収益の確保を図るなど、健全経営に努めました。

ボランティア活動については、近年、全国的に頻発している自然災害に備えるため、被災地のボランティアセンターなどに職員を派遣し災害復興を支援するとともに、センター運営の実際を経験することによるノウハウの蓄積に努めました。また、個人、団体のボランティア登録を進めるとともに、相談への対応や情報の提供、市民に対する周知を行い育成に努めました。

法人組織の管理・運営については、関係法令と定款などを遵守するとともに、定期的に評議員会と理事会を開催してガバナンスの強化と透明性の確保を図りました。また、社協だよりの発行やホームページ開設などの広報活動を展開し、市民に対して理解の醸成と協力関係の構築に努めました。天童市総合福祉センターの管理・運営についても、指定管理に関する包括協定に基づき、適正な管理と市民が利用しやすい環境づくりに努めました。

このように、本協議会は地域福祉を推進する中核組織として、地域社会福祉協議会や行政、地域住民、福祉事業者等との連携を図りながら、『共に支え合い、安心して心豊かに暮らせる福祉のまち』の実現を目指して、効率的な運営と積極的な事業を展開しました。

重点項目

1 「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践

自助、互助、共助及び公助の取り組みによる地域生活課題の把握や地域共生社会の実現を理念に掲げ策定した「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践活動に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への生活資金の貸付けや相談対応、生活支援コーディネーター事業では、生活支援・介護予防体制整備推進協議体と連携を図り、住民ニーズと提供主体のコーディネーター業務等を実施しました。

2 地域包括ケアに係る地域づくりの推進

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出や介護サービスの利用を控える高齢者が多い中、安否確認と廃用症候群予防の呼び掛けを兼ねて、新たに一人暮らし高齢者緊急訪問事業を実施しました。また、通常の相談対応やモニタリング、担当者会議の開催時は、三密を避けて、短時間での効率的な意志疎通、状態把握に努めました。

さらにコロナ禍においても、認知症の方にやさしい地域づくりの一環として、社会人、学生向けの認知症サポーター養成講座の開催に努めました。

3 介護保険事業所の適正経営

本会が運営する居宅介護支援事業所及び訪問介護サービス事業所は、介護保険や障がい者支援制度に基づき利用者の望む生活、自立した生活を支援するため、法令遵守や公正公平な支援体制を整え、効果的かつ適正な運営に努めました。また、新型コロナウイルス感染防止の徹底に努め、安心してサービスを利用していただけよう対策を講じて支援にあたりました。

さらに、介護保険事業所の安定した経営維持を目指し、定期的な運営会議を開催しました。

4 天童市総合福祉センターの管理・経営

機械室冷温水管保温修繕や誘導灯、照明器具等を修理するなど、良好な設備環境による適切な管理・経営に努めながら、利用者の要望に沿うとともに、経費節減に基づく効率的な運営を旨として、市総合福祉センターの管理運営を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者へ「新しい生活様式」の徹底と環境衛生の整備に努めました。

5 法人組織の適正な管理と経営改善に向けた取り組み

経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上のため、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。また、経費の節減等を行いながら、経営改善に努めました。

事業概要

1 地域福祉事業・ボランティア活動の推進

(1) 地域福祉ネットワーク活動

ア 地域社会福祉協議会の支援・充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあう「福祉コミュニティ」を実現することを目的とした地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

地域社会福祉協議会会議を2回開催し、情報交換や協議を行いながら、地域社会福祉協議会の行事等への参加、社会福祉協議会費や共同募金集金の協力、歳末たすけあい配分委員会への協力等、活動全般に協力しました。

- 1 地域社会福祉協議会会議期日等
 - (1) 7月27日 31名参加
 - (2) 1月25日 29名参加
- 2 地域社会福祉協議会の共通活動
 - (1) 市福祉推進員活動の支援
 - (2) いきいきサロン活動・地域カフェ推進事業・子育てサロン
 - (3) 共同募金・歳末たすけあい運動の協力
 - (4) 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費集金協力
 - (5) 福祉活動の啓発・情報提供
 - (6) 福祉関係機関との連絡・調整

イ 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や市民生委員・児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う市福祉推進員の活動を支援しました。

- 1 市福祉推進員委嘱状況 329名（昨年度330名）
天童南部47名、天童中部75名、天童北部38名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山24名、田麦野2名、山口18名、高嶺22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名
- 2 任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日
- 3 市福祉推進員の共通活動
 - (1) 見守り、声かけ、話し相手に関すること
 - (2) 安否の確認、緊急時の連絡等に関すること
 - (3) たすけあい、ささえあいの機運づくり等に関すること
 - (4) 地域福祉事業等への参加・協力に関すること
 - (5) その他地域福祉の推進に関すること

ウ いきいきサロン事業の充実・普及

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場で

あるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や市民生委員・児童委員、市福祉推進員等の支援を得て、62ヶ所で運営を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

市社会福祉協議会事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催自粛要請を行ったため安否確認を含めた訪問活動の取組みを推奨しながら、感染対策についての研修会や広報誌を発行し情報提供に努めました。

1 いきいきサロン開設数 62ヶ所（昨年度62ヶ所）

(1) 町内会単位 57ヶ所（昨年度55ヶ所）※休止 12ヶ所

三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区（休止）、久野本東3.4区、久野本東7区、久野本東9区（休止）、久野本東10区（休止）、久野本東12.13区（休止）、久野本東16区、久野本会（休止）、糠塚、柏木、泉町、東本町（休止）、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町（休止）、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目（休止）、北久野本5丁目、天童原、大清水、大町、西交り江、今町（休止）、向原、成生、小関、高木、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、道満、原崎、芳賀（休止）、金谷（休止）、高橋北（休止）、清池、楯之内、にれの木団地、高橋1.2、石倉、上荻野戸、原町、八千代台

(2) 市立公民館単位 5ヶ所（昨年度5ヶ所）

寺津、田麦野、長岡（2ヶ所）、荒谷

2 一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン 60ヶ所（昨年度58ヶ所）

3 おためしサロン 0ヶ所（昨年度1ヶ所）

4 いきいきサロン活動への支援

(1) 各種講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）

(2) 開設・運営の打ち合せ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）

5 歩（ふ）れあいだよりの発行

(1) 配布先

ア いきいきサロン 62ヶ所

イ 地域カフェ 11ヶ所

(2) 内容

ア Vol.1（9月発行）

通いの場の開催状況、感染予防対策、福祉バス等の利用方法他

イ Vol.2（12月発行）

合同研修会の報告、アンケート集計結果、貸出DVDベスト5他

6 新型コロナウイルス感染予防のための対応

(1) いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会 10月26日 40名参加

(2) 活動自粛期間

ア 令和2年3月1日～5月31日 活動自粛

イ 令和2年6月1日～9月中旬 飲食やカラオケ等を禁止しながら再開

ウ 令和2年9月中旬～12月下旬 感染に留意しながら飲食やカラオケ等を可能

エ 令和2年12月下旬～令和3年2月14日 活動自粛

オ 令和3年2月15日～3月下旬 活動再開

カ 令和3年3月下旬～4月25日 活動自粛（予定）

(3) 助成金

本会より自粛の要請を行ったことからサロン活動を1回以上開催した場合（訪問活動含む）は、助成金の返金を不要としました。

エ 地域カフェ推進事業の実施

平成29年10月より、市の委託を受けて、介護保険総合事業の地域介護予防活動支援事業の枠組みにより、各地域に高齢者を中心とする集いの場を設け、交流及び介護予防の機会を提供する「地域カフェ推進事業」を実施しました。

地区（市立公民館区域）を拠点に、月1回以上の集いの場を開催、地区外の高齢者の参加も可能とすることで、町内会での開催を中心とした「いきいきサロン」事業との相乗効果を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催自粛要請を行いながら、感染対策についての研修会を開催しました。

1 地域カフェ推進事業開設数と主な内容 11ヶ所（昨年度11ヶ所）※休止3ヶ所

- (1) 天童南部「ふれあい南部茶屋」（休止）
- (2) 天童中部「くらつ川」（歌唱、軽体操）
- (3) 天童北部「いるばある」（DVD鑑賞、歌唱、軽体操）
- (4) 蔵増「蔵」（健康体操）
- (5) 寺津「うたごえ喫茶」（懐メロ鑑賞、茶話会）
- (6) 田麦野「すみれ会」（スリッパ卓球、茶話会）
- (7) 山口「お茶のみ処」（休止）
- (8) 高揃「こっ茶来い」（休止）
- (9) 老野森「たんときてけろ」（喫茶、軽体操）
- (10) 糠塚「さくらカフェ」（喫茶、軽体操）
- (11) 上貫津「龍神の里カフェ」（喫茶、歌唱）

2 地域カフェ推進事業への支援活動

- (1) 開設時準備作業への協力（打合せへの参加他）
- (2) 開設日時の市報掲載への協力
- (3) 保険加入支援・講師等の紹介

3 新型コロナウイルス感染予防のための対応

- (1) いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会 10月26日 8名参加

(2) 活動自粛期間

ア 令和2年3月1日～5月31日 活動自粛

イ 令和2年6月1日～9月中旬 飲食やカラオケ等を禁止しながら再開

- | | | |
|---|---------------------|----------------------|
| ウ | 令和2年9月中旬～12月下旬 | 感染に留意しながら飲食やカラオケ等を可能 |
| エ | 令和2年12月下旬～令和3年2月14日 | 活動自粛 |
| オ | 令和3年2月15日～3月下旬 | 活動再開 |
| カ | 令和3年3月下旬～4月25日 | 活動自粛（予定） |

オ 生活支援コーディネーターの配置

天童市生活支援・介護予防体制整備推進協議体を開催しながら、住民ニーズと提供主体のマッチングや連携及び調整を行い、不足する社会資源についての検討を行いました。また、情報の見える化を行うため高齢者向けの社会資源ガイドブックを作成しました。

なお、自立支援型地域ケア会議に参加し、個別事例の検討において行う課題分析等を通じて、地域に共通するニーズ等の情報収集や社会資源の情報提供に努めました。

- | | |
|-----|-----------------------|
| 1 | 生活支援・介護予防体制整備推進協議体 |
| (1) | 期日 |
| ア | 11月2日 |
| イ | 3月25日（書面表決に変更） |
| (2) | 委員数 9名 |
| 2 | 自立支援型地域ケア会議への参加 14回 |
| 3 | 社会資源ガイドブック |
| (1) | 内容 |
| ア | ゴミ出し支援 |
| イ | 除雪支援 |
| ウ | 食材や日用品の配達（移動販売車含む）等 |
| (2) | 配布先等 |
| ア | 市社会福祉協議会及び市ホームページへの掲載 |
| イ | 市内地域包括支援センター |
| ウ | 市内居宅介護支援事業所等 |

カ 社会福祉法人連絡会活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、社会福祉法人連絡会幹事会で検討を行い、社会福祉法人連絡会総会・研修会を中止としましたが、書面での社会福祉法人相互の情報交換を行いました。

- | | |
|-----|--------------|
| 1 | 幹事会 |
| (1) | 期日 8月7日 |
| (2) | 参加法人 3社会福祉法人 |
| ア | 小百合保育園 |
| イ | 天童福祉厚生会 |
| ウ | 天童まいづる会 |
| 2 | 情報交換内容 |

- (1) 法人運営会議の開催状況について
 - (2) 希望する研修会等の内容やテーマ
 - (3) 新型コロナウイルス感染症予防対策について
 - (4) 令和2年度事業計画について
- 3 社会福祉法人連絡会参加法人 市内に所在地を置く14社会福祉法人
山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいづる会、睦会
羽陽の里、みらい、つばさ会、つるかめ、星和学園、にこにこ子どもの家
虹の会、つくし保育園、市社会福祉協議会

キ 子育て支援事業の実施

市母子寡婦福祉連合会や地域社会福祉協議会の子育てサロンと協力しながら、親子の集いや子どもたちの遊びの場づくり、親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、市母子寡婦福祉連合会との共催事業であるままカフェ交流会及び県退職公務員連盟東村山支部との共催事業の学習支援教室を中止としました。

- 1 市母子寡婦福祉連合会共催事業
 - (1) 親と子のクリスマスパーティー
 - ア 期日 12月13日
 - イ 内容 チェロの演奏、プレゼントやケーキの配布
 - ウ 参加者 38名
 - (ア) 子ども 15名
 - (イ) 親 12名
 - (ウ) その他（スタッフ）11名
 - (2) 子ども食堂 2回（昨年度3回）
 - ア 期日 10月25日・12月13日
 - イ 内容 子どもたちへの食事、居場所の提供
 - (3) フードパントリー 4回（新規）
 - ア 期日 8月22日・11月29日・1月17日・2月14日
 - イ 内容 食品や弁当の配布
- 2 子育て支援活動への助成
 - (1) 長岡地域社会福祉協議会「子育てサロンりんごっこ」
 - ア 開催日 毎月第2、第4木曜日
 - イ 開催回数 12回
 - ウ 内容 読み聞かせや季節行事、お誕生日会等
 - (2) 高橋地域社会福祉協議会「おひさま」
 - ア 開催日 毎月第3水曜日
 - イ 開催回数 4回
 - ウ 内容 読み聞かせや季節行事、親子ふれあい遊び等

(2) 社会福祉啓発と福祉人材の育成

ア 社会福祉協議会だより発行

本会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域の問題を取り入れながら、表紙をリニューアルし、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。

1 社会福祉協議会だより（年４回発行）

(1) 配布先

- ア 市内全世帯 約 22,700 世帯
- イ 福祉関係施設等 県内約 100 施設

(2) 内容

ア Vol.177（６月１５日発行）

中部小パラスポーツ体験、事業計画・収支予算、第二次天童市地域福祉活動計画、市福祉推進員紹介、市多機関協働支援センター紹介他

イ Vol.178（１０月１日発行）

天童高校手作りマスク・共同募金お願い、決算状況、災害ボランティアセンター、介護サービス事業所紹介、市成年後見センター紹介他

ウ Vol.179（１月１５日発行）

高橋小車いす体験、新年会長挨拶、福祉功労者表彰紹介、ボランティア紹介・生活福祉資金案内、市地域包括支援センター案内他

エ Vol.180（３月１５日発行）

荒谷小除雪ボランティア、共同募金実績報告、市生活自立支援センター案内、福祉サービス利用援助事業案内、元気なからだをつくるポイント他

2 社会福祉協議会会費集金用チラシ（７月発行）

(1) 配布先 市内全世帯 約 22,700 世帯

(2) 内容 事業内容及び予算状況

イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり 2020 の企画・開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、市との検討（６月２日・６月４日・７月９日）を行い、いきいき・ふれあい健康福祉まつり 2020 を中止としました。

ウ 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を行いました。いきいき・ふれあい健康福祉まつりの中止、また市内での新型コロナウイルス蔓延のため個別に表彰を行いました。

1 市社会福祉功労者表彰審査会

- (1) 期日 ８月２５日
- (2) 委員数 ７名

2 表彰受賞者

(1) 個人 １２名（昨年度４名）

川股節子氏 酒井純子氏 富樫イク子氏 花輪里美子氏 山口フミヨ氏
笠原玲子氏 加藤友子氏 阿部明美氏 三浦淳子氏 野口さつき氏
矢野建史氏 荒木公子氏

エ ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録及び派遣を行いました。また、広報誌に掲載し講座の周知や講師の人材発掘に努めました。

- | | | | |
|---|------|--|---------------------------------------|
| 1 | 登録講師 | 個人・団体 | 34講師（昨年度38講師） |
| 2 | 講座内容 | 健康講話、音楽療法、点字・手話指導、折り紙、絵手紙、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、楽器演奏、なつめろ、編み物、パソコン、ツボ講座 | |
| 3 | 派遣実績 | | |
| | (1) | 件数 | 18件（昨年度67件） |
| | (2) | 派遣場所 | いきいきサロン、地域社会福祉協議会、福祉施設、小学校、市老人クラブ連合会等 |

オ 福祉のこころ実践校事業の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。

- | | | | |
|---|-------------|-----------------|---|
| 1 | 福祉のこころ実践校活動 | 9校（昨年度9校） | |
| | (1) | 学校名 | 天童南部小、天童中部小、成生小、蔵増小、寺津小、津山小、山口小、高掬小、荒谷小 |
| | (2) | 補助金合計額 | 280,000円（昨年度280,000円） |
| | (3) | 内容 | 共同募金活動や地域でのボランティア活動、高齢者施設等への手作りプレゼントの寄贈、福祉体験学習等 |
| 2 | 福祉体験学習 | | |
| | (1) | 手話学習 | 蔵増小 11月19日26日 18名（4年生） |
| | (2) | 車いす体験 | 高掬小 11月20日 44名（4年生） |
| | (3) | 福祉施設へ手作りエコバック寄贈 | 南部小 1月 26名（6年生） |
| | (4) | 高齢者宅除雪ボランティア | 荒谷小 1月19日 28名（5・6年生） |
| | (5) | 手話学習 | 高掬小 1月27日 44名（4年生） |
| | (6) | 点字学習 | 高掬小 2月9日12日 44名（4年生） |
| | (7) | 福祉施設等への合唱DVD寄贈 | 中部小 3月22日 128名（4年生） |

カ 介護職員初任者研修受講助成事業

社会福祉協議会だより、ホームページにて広報に努めましたが、申請希望者がありませんでした。

(3) ボランティア活動の育成

ア ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、社会福祉協議会だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。

- 1 ボランティア登録
 - (1) 個人 12名（昨年度13名）
 - (2) 団体 52団体（昨年度52団体）
- 2 ボランティア相談対応
 - (1) 周知及び活動依頼（ボランティアの紹介・参加協力依頼）2件（昨年度9件）
 - (2) 活動希望（活動先の紹介）4件（昨年度7件）
 - (3) ボランティア団体への支援
 - (4) ボランティア団体活動費助成事業の実施 4件（昨年度4件）
 - (5) ボランティア室の設置、ロッカー貸出
- 3 市民へのボランティア活動周知及び啓発
社協だより（1月号）へボランティアサークルの紹介を掲載
- 4 天童建設総合組合による家屋補修事業
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。

イ 介護ボランティア支援事業の実施

65歳以上の高齢者が介護保険事業所（登録施設）や認知症カフェでボランティア活動に取り組む際、ボランティア登録及び施設の紹介を行いながら、ボランティア活動保険の掛金を助成することにより、高齢者のボランティア活動の普及と健康の保持、介護予防の増進を図りました。なお、介護支援ボランティア事業については、令和2年度をもって終了することとなりました。

- 1 登録福祉施設 16ヶ所（昨年度16ヶ所）
 - (1) 特別養護老人ホーム明幸園
 - (2) 特別養護老人ホーム清幸園
 - (3) 特別養護老人ホームあこがれ
 - (4) 介護老人保健施設あこがれ
 - (5) 介護老人保健施設ラ・フォーレ天童
 - (6) 通所介護事業所つるかめ、となりのつるかめ
 - (7) 通所介護事業所 認知症対応型共同生活介護サポートハウスふぁみりー
 - (8) 通所介護事業所くわのまちデイサービス
 - (9) 認知症対応型共同生活介護ハートステーション西原
 - (10) 介護付有料老人ホームソーレ天童
 - (11) 特別養護老人ホームさくらホーム天童
 - (12) 地域密着型特別養護老人ホームきらめきの里
 - (13) グループホーム ライフステーション寺津
 - (14) 小規模多機能いこいのつるかめ
 - (15) 認知症対応型共同生活介護グループホームつるかめ
 - (16) 通所介護事業所福祉のひろば
- 2 活動登録者 22名（昨年度24名）
 - (1) 男性 16名（昨年度16名）
 - (2) 女性 6名（昨年度8名）

ウ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、市防災訓練が中止となったため、災害ボランティアセンター設置運営訓練も中止としました。

また、令和2年7月山形県豪雨災害の被害を受けた村山市に対して職員派遣を行い、村山市災害ボランティアセンターの運営支援に努めました。

村山市災害ボランティアセンターへの協力

職員派遣 8月1日～8月2日（2日間） 2名

2 生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施

(1) 天童市生活自立支援センターの運営

「生活困窮者自立支援法」に定められた必須事業である自立相談支援事業の委託を受けて、住居確保給付金及び諸福祉制度等を活用し、生活困窮者の相談支援に当たりました。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、減収や離職したことで一時的に資金が必要となった方に対する生活福祉資金の特例貸付や住居確保給付金の支給など、一人ひとりの状況に合わせた相談支援を実施しました。

また、各関係機関との連携を図るため、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、運営実績の報告、生活困窮者支援に関する情報交換等を行う運営会議を開催しました。

1 自立相談支援事業

(1) 新規相談件数（実件数） 508件（昨年度145件）

(2) 自立支援プラン作成数 15件（昨年度9件）

(3) 支援実績（延件数）

ア 電話相談・連絡 1,408件（昨年度375件）

イ 他機関との連絡調整 579件（昨年度568件）

ウ 面談 1,208件（昨年度280件）

エ 訪問及び同行支援 135件（昨年度138件）

(4) 支援調整会議

ア 回数 7回（昨年度8回）

イ 期日 7月29日・9月8日・10月6日・11月13日
12月16日・1月29日・3月24日

(5) 運営会議

ア 期日 2月24日

イ 参集者 12名

日本司法支援センター山形地方事務所、やまがた若者サポートステーション、精神保健医療機関（秋野病院）、天童市学童保育連絡協議会、天童市自立支援協議会相談支援部会、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護

支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

2 住居確保給付金

- (1) 相談件数 延 1 4 8 件（昨年度 1 1 件）
- (2) 申請件数 3 6 件（昨年度 3 件）
- (3) 決定件数 3 6 件（昨年度 3 件）

(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業の実施

市から委託を受けて、モデル事業である「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を実施しました。介護や障がい、育児、生活困窮、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等の複合的な問題を抱える世帯やどこに相談したらよいか分からないといった制度の狭間の問題を抱える世帯の相談を受け、関係機関のコーディネートを行い、複雑化した課題の解決に努めました。

また、各分野の関係機関を参集する運営会議（相談支援包括化推進会議）の開催や市内関係機関等への周知活動を通し、相談支援のネットワーク構築に努めました。

1 新規相談件数（実件数） 9 4 件（昨年度 8 7 件）

2 支援実績（延件数）

- (1) 電話相談・連絡 4 3 5 件（昨年度 2 6 2 件）
- (2) 訪問及び同行支援 1 1 2 件（昨年度 1 4 0 件）
- (3) 面談 3 2 8 件（昨年度 2 2 3 件）
- (4) 他機関との連絡・調整 3 8 6 件（昨年度 4 5 8 件）
- (5) ケース会議（支援調整会議含む） 1 4 件（昨年度 4 4 件）

3 運営会議（相談支援包括化推進会議）

- (1) 期日 2 月 2 4 日
- (2) 参集者 1 2 名

日本司法支援センター山形地方事務所、やまがた若者サポートステーション、医療法人社団斗南会秋野病院、市学童保育連絡協議会、天童市自立支援協議会相談支援部会、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

4 周知活動

山形人権擁護委員協議会天童支部会研修会（1 0 月 2 9 日）、民生委員児童委員連絡協議会保健部会研修会（1 1 月 1 0 日）、歳末たすけあい配分委員会（市内 1 3 地域 1 2 月 2 日～1 2 月 4 日）、地域社会福祉協議会会議（1 月 2 5 日）

(3) その他の相談援助事業の実施

ア 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方、日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関や他制度と調

整しながら、金銭管理や通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

- 1 利用者 24名（昨年度19名）
 - (1) 高齢者 12名（昨年度9名）
 - (2) 知的障がい者 5名（昨年度4名）
 - (3) 精神障がい者 7名（昨年度6名）
- 2 サービス支援回数 338回（昨年度204回）
※ 生活支援員5名・専門員3名で対応
- 3 相談及び連絡調整回数 延922回（昨年度666回）
※ 専門員3名で対応
- 4 新規相談件数 延28件（昨年度20件）
- 5 新規契約件数 7件（昨年度7件）
- 6 支援内容 通帳等預かりや生活費の払出、金銭等に関わる相談支援、福祉サービス利用料等の支払い、口座振替等の手続

イ 法人後見業務・成年後見センター事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力の不十分な方に対して、本会が法人として成年後見人等に就任し、財産管理や身上監護を通して支援を行いました。なお、法律関係者や医療関係者、福祉関係者、行政関係者、学識経験者で構成した運営委員会を開催し法人後見事業の適正な運営を図りました。

また、市から成年後見センター事業の委託を受けて、成年後見制度の利用相談や必要に応じて本人及び親族の家庭裁判所に対する申立て手続の支援の他、周知活動を実施し、制度の利用促進に努めました。さらに今年度より、山形県弁護士会、成年後見センターリーガルサポート山形支部（山形県司法書士会）、成年後見センターぱあとなあ山形（山形県社会福祉士会）の協力により、制度利用を必要とする方が、その抱える課題に応じて、適切な成年後見人等が選任されることを目的としたケース方針調整会議を実施しました。

- 1 法人後見事業
 - (1) 新規受任件数 1件（昨年度3件）
 - (2) 受任合計数 4件（昨年度4件）
 - (3) 運営委員会
 - ア 期日 12月18日
 - イ 委員数 5名
- 2 成年後見センター事業
 - (1) 成年後見制度に関する相談支援（実件数） 24件（昨年度22件）
 - ア 制度全般に関する相談 6件（昨年度7件）
 - イ 制度利用及び申立てに関する相談 12件（昨年度8件）
 - ウ 法人後見受任に関する相談 1件（昨年度7件）
 - エ ケース方針調整会議の相談 5件（昨年度0件）
 - (2) ケース方針調整会議 5回（新規）
 - ア 受任団体
 - (ア) 山形県弁護士会 1件

(イ)	成年後見センターリーガルサポート山形支部（山形県司法書士会）	1 件
(ウ)	成年後見センターばあとなあ山形（山形県社会福祉士会）	2 件
(エ)	本会法人後見	1 件
(3)	周知活動	
	山形人権擁護委員協議会天童市部会研修（10月29日）、歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月2日～12月4日）、認知症カフェあったカフェてんどう（12月16日）、地域社会福祉協議会会議（1月25日）	

ウ 生活福祉資金・たすけあい資金の貸付及び償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に市民生委員・児童委員及び行政と連携しながら、生活費や修学費用等の貸付を行いました。

さらに、令和2年3月より、新型コロナウイルス感染症の影響で減収、離職した方を対象とした生活福祉資金特例貸付を実施し、生活維持の支援に努めました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、面接相談会の開催等により生活状況把握及び償還指導を強化しました。

1	生活福祉資金
(1)	貸付状況
ア	相談件数 延221件（昨年度150件）
イ	貸付件数 23件（昨年度18件）
(2)	償還状況
ア	償還完了 12件（昨年度9件）
イ	償還免除 4件（昨年度1件）
ウ	貸付件数 165件（昨年度164件）
(イ)	償還開始前 42件（昨年度35件）
(イ)	順調償還（直近で滞納回数0～2回） 55件（昨年度55件）
(ウ)	滞納 68件（昨年度74件）
a	生活状況把握 65件（昨年度69件）
b	行方不明 3件（昨年度5件）
(3)	償還指導 対象45件（昨年度59件）
ア	償還面接相談会
(イ)	期日 11月19日
(イ)	件数 2件（昨年度4件）
イ	面接日変更 1件（昨年度2件）
ウ	訪問 25件（昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
エ	電話 0件（昨年度6件）
2	生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルス特例）
	貸付状況
ア	相談件数 延1,191件（昨年度28件）
イ	貸付件数 296件（昨年度1件）
(イ)	緊急小口資金特例貸付 199件（昨年度1件）

(4) 総合支援資金特例貸付 97件（昨年度0件）

3 たすけあい資金貸付状況

- (1) 貸付件数 22件（昨年度6件）
- (2) 償還完了 19件（昨年度6件）
- (3) 償還中 20件（昨年度17件）

エ ささえあい相談所（法律相談）

市民の法律に関する日常生活上の困りごとや心配ごとの解決に向け、身近で気軽な相談の場を提供するため、山形県弁護士会より会員を派遣いただき、弁護士による無料法律相談会を開催し法律トラブルへの初期対応を図りました。

1 無料法律相談会

- (1) 開催日 毎月第2水曜日
- (2) 開催時間 午後1時30分から午後4時 ※1人30分
- (3) 相談件数 38件（昨年度43件）

2 相談内容 債務や金銭の貸借、離婚、相続、調停等

オ フードバンク事業の実施

NPO 団体等より供与いただいた食品等を生活困窮者等の必要と認められる世帯や団体等に対し、無料で提供を行い食糧支援に努めました。なお、ご家庭や職場で余っている食品を寄付いただくフードドライブ事業も展開しました。

1 供与団体・供与品

- (1) やまがた福わたし（フードバンク山形中央）
 - ア 食品（米、パックご飯、乾麺、フリーズドライ、飲料、調味料、カップラーメン、菓子、缶詰、野菜、レトルト食品）
 - イ 日用品
 - ウ 文房具
- (2) コープフードバンク
 - 食品（レトルト食品、おでん、カップラーメン、スティック飲料、缶詰、乾麺、調味料、アルファ米）
- (3) フードドライブ（市社協）
 - ア 個人 7名（玄米、リンゴ等）
 - イ 企業 3件（レスキューフーズ、米等）

2 提供先

- (1) 生活困窮者 146件（昨年度28件）
- (2) 地域包括支援センター 2件（昨年度3件）
- (3) 子ども食堂 1件（昨年度4件）
- (4) 学習支援教室及び母子寡婦福祉連合会 2件（昨年度4件）

カ 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、県内に避難されている避難者の方々の安定した日常を確保するとともに、円滑な帰還や定住、生活再建を支援するため「避難者生活支

援」事業に取り組みました。

県社会福祉協議会の委託を受け、2名の相談員が避難者の方々の地域での孤立防止及び社会参加の機会、仲間づくりを目的に、「訪問活動」「つどいの場づくり」を展開しましたが、緊急事態宣言等、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動ができない時期があり、広報誌を発行し情報提供等に努めました。また、帰還や定住、生活再建等に向けた情報収集、情報提供及び各種関係機関との連携をはかり生活再建を支援しました。

1 訪問活動実績

- (1) 訪問回数 161回（昨年度163回）
- (2) 面接回数 57回（昨年度66回）
- (3) 訪問対象世帯 21世帯（昨年度21世帯）

2 避難者の集い（ちえっと寄れ茶）

- (1) 開催実績 5回 延20人（昨年度3回 延13人）
 - ア 8月27日 5名
 - イ 9月17日 3名
 - ウ 11月12日 4名
 - エ 1月14日 3名
 - オ 3月11日 5名

※4月～7月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- (2) 内容 地元のお菓子と飲み物を用意してお茶会を楽しむ

3 共同作業や旅行を通じた仲間づくり

- (1) 開催実績 3回 延16名（昨年度8回 延44名）
 - ア 10月8日 7名
 - イ 12月10日 4名
 - ウ 2月19日 5名
- (2) 内容 山寺日帰り旅行、クリスマスケーキ作り、市危機管理室より災害、応急手当等の防災についての講話

4 関係機関との連携・協力

- (1) 山形県復興・避難者支援室（随時）
- (2) 市危機管理室（月1～2回）
- (3) 市生活自立支援センター（随時）
- (4) 市地域包括支援センター（随時）
- (5) ボランティア団体（随時）

3 共同募金活動

(1) 一般募金・歳末たすけあい募金への協力

社会福祉法人山形県共同募金会天童市共同募金委員会として積極的な共同募金運動を展開し、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。また、はな駒荘、市総合福祉センターに設置の赤い羽根社会貢献及び災害対応自動販売機にて募金活動を行いました。

- 1 一般募金
 - (1) 募金額 9, 146, 948円（昨年度8, 968, 252円）
赤い羽根社会貢献及び災害対応自動販売機募金22, 176円を含む
 - (2) 募金件数 19, 162件（昨年度18, 529件）
- 2 歳末たすけあい運動
 - (1) 募金額 5, 240, 007円（昨年度5, 142, 659円）
 - (2) 募金件数 16, 716件（昨年度16, 284件）
 - (3) 歳末たすけあい色紙頒布会
 - ア 共催 宝樹社
 - イ 会場・期日
 - (ア) 市美術館ロビー 12月2日から10日
 - (イ) 市役所1階市民ロビー 12月11日から18日
 - ウ 作品数 22点（昨年度27点）
 - (ア) 色紙 18点
 - (イ) ハガキ 4点
 - (ウ) 募金額（歳末たすけあい運動募金額に含む）91, 857円
（昨年度96, 659円）
- 3 義援金 令和2年7月山形県豪雨災害義援金 3件 35, 437円
（昨年度23, 100円 3件）

(2) 歳末たすけあい募金の適正配分

歳末たすけあい募金の戸別募金については、歳末たすけあい配分委員会担当者会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適正な配分のあり方等を検討し、各地域の配分対象基準の平準化や適正配分を実施いたしました。なお、篤志寄付についても実施いたしました。

- 1 歳末たすけあい募金戸別募金配分内容
 - (1) 配分額 5, 048, 150円（昨年度4, 916, 000円）
 - (2) 配分件数 807件（昨年度808件）
 - (3) 歳末たすけあい配分委員会担当者会議期日 10月2日
 - (4) 歳末たすけあい配分委員会
 - ア 日程 12月2日から4日まで
 - イ 開催回数 13地域毎に開催
 - (5) 歳末たすけあい配分委員会委員
地域社会福祉協議会、市民生委員・児童委員、町内会、市福祉推進連絡会、市連合婦人会、小学校、中学校、市立公民館他
- 2 歳末たすけあい募金篤志寄付配分内容
 - (1) 配分先等
 - ア NPO法人ふれあい天童 70, 000円
 - イ 天童市社会福祉協議会 121, 857円

(3) 地域福祉活動推進プロジェクト（テーマ型募金）への協力

県共同募金会が「テーマ型募金」公開審査会を開催しましたが、市関連の申請団体がありませんでした。

- | | | |
|---|-----------------|----------|
| 1 | 「テーマ型募金」公開審査会期日 | 8月1日 |
| 2 | 参加申請団体 | 4団体（県全体） |

4 天童市地域包括支援センター中央の運営

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人や家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連携を図り、ワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

※相談件数は、延件数です。

- | | | |
|-----|---------------------|---------------------|
| 1 | 相談件数 | 1, 621件（昨年度1, 675件） |
| (1) | 介護保険関係、ケアマネ紹介及び申請代行 | 643件（昨年度670件） |
| (2) | 医療との連携及び退院支援について | 123件（昨年度128件） |
| (3) | 困難事例（ア～ク） | 433件（昨年度516件） |
| ア | 認知症高齢者世帯 | 90件（昨年度153件） |
| イ | 精神・知的・身体障害者等家族世帯 | 131件（昨年度194件） |
| ウ | 経済的困難 | 65件（昨年度54件） |
| エ | 家族・親戚からの支援困難 | 64件（昨年度45件） |
| オ | 支援受入拒否 | 46件（昨年度40件） |
| カ | 地域からの孤立 | 26件（昨年度2件） |
| キ | 家族の介護力不足 | 11件（昨年度28件） |
| ク | 利用できる施設不足 | 0件（昨年度0件） |
| (4) | 虐待 | 16件（昨年度21件） |
| (5) | 虐待の可能性 | 11件（昨年度15件） |
| (6) | 成年後見制度の活用、財産及び遺言関係 | 42件（昨年度54件） |
| (7) | 消費者被害 | 8件（昨年度5件） |
| (8) | その他 | 345件（昨年度266件） |
| 2 | 受付形態別件数 | 1, 176件（昨年度1, 171件） |
| (1) | 電話 | 739件（昨年599件） |
| (2) | 訪問 | 220件（昨年度269件） |
| (3) | 来所 | 214件（昨年度284件） |
| (4) | 会議 | 3件（昨年度19件） |

イ 在宅介護支援センターとの連携

地域の相談窓口の一つである在宅介護支援センターと連携しながら、情報共有及び同行訪問等により、地域の高齢者世帯に対して相談支援を行いました。

市在宅介護支援センター

- (1) 清幸園
- (2) ラ・フォーレ天童
- (3) あこがれ

ウ 地域におけるネットワークの構築

地域社会福祉協議会の研修会及び民生委員・児童委員定例会への参加等、地域における関係者との連携強化を図り、地域の高齢者の見守り活動に係る意識啓発に努めました。

- 1 市在宅介護支援センター連絡会（月 1 回）への参加
- 2 グループホーム等運営推進会議（4ヶ所 2ヶ月 1回）の参加
- 3 地域密着型特別養護老人ホーム運営推進会議（3ヶ所 2ヶ月 1回）の参加

エ 包括支援センターニュース発行の充実

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に、市民生委員・児童委員、市福祉推進員、関係機関（行政、交番、駐在所、医療機関）、公共機関（行政窓口、公民館等）及び介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

天童市地域包括支援センターニュース

- (1) 配布先 市民生委員・児童委員、市福祉推進員、自治会長、関係機関等
約 500 部
- (2) 内容
 - ア 39号（7月発行）
熱中症予防、コロナウイルス詐欺予防呼びかけ、介護保険サービス紹介
 - イ 40号（12月発行）
緊急通報装置のお知らせ、見守り活動の呼び掛け、自宅で出来る運動の紹介、リフォーム詐欺の予防、ヒートショックの注意
 - ウ 41号（3月発行）
低栄養のチェックと予防、口腔ケアとストレッチ、家庭内の冬の事故の注意、悪質商法予防、

オ 地域支援事業申請に係わる支援及び調査等の代行業務

在宅介護や住み慣れた地域での高齢者の生活を支えることを目的に、福祉サービスの相談や申請代行、利用者調査、不在時の安否確認等を行いました。

- 1 乳酸飲料サービス事業
- 2 見守り配食事業
- 3 紙おむつ支給事業
- 4 軽度生活援助事業
- 5 緊急通報体制等整備事業

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、包括的・継続的なケア体制を実施するため、医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の介護支援専門員、介護サービス事業者等の連携及び質の向上のための支援を行いました。

ア 地域ケア会議・自立支援型地域ケア会議の開催

本人や関係者ととともに個別の検討を中心としたケア会議や自立支援を目的とした専門職による自立支援型地域ケア会議を開催しました。

- | | | |
|---|-----------------------|-------------|
| 1 | 地域ケア会議の開催回数 | 9回（昨年度2回） |
| 2 | 自立支援型地域ケア会議（市主催）の開催回数 | 14回（昨年度17回） |

イ 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、学習会や市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議を開催しました。

- | | | |
|-------------|--------|------------------------------|
| 主任介護支援専門員会議 | 2回 | 42名 |
| (1) | 5月 | |
| ア | 内容 | 法人後見と生活支援コーディネーターについて |
| イ | 参加者 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| (2) | 7月15日 | |
| ア | 内容 | 次年度事業計画案、次回介護支援専門員連絡会について |
| イ | 参加者 | 19名 |
| (3) | 10月20日 | |
| ア | 内容 | 天童市の「地域資源」の現状と今後についての情報提供 |
| イ | 参加者 | 23名 |
| (4) | 12月 | |
| ア | 内容 | グループスーパービジョン（事例検討会） |
| イ | 参加者 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| (5) | 3月 | |
| ア | 内容 | 次年度の事業計画（案）について |
| イ | 参加者 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（書類にて確認） |

ウ 介護支援専門員連絡会及び介護サービス事業所連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会を開催しました。

- | | | |
|------------|-----|---|
| 介護支援専門員連絡会 | 2回 | 65名 |
| (1) | 4月 | |
| ア | 内容 | 天童市健康福祉部保険給付課よりお知らせ・天童市地域包括支援センターよりお知らせ・その他 |
| イ | 参加者 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
| (2) | 6月 | |
| ア | 内容 | 医療との連携 |
| イ | 参加者 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |

- (3) 9月
 - ア 内容 多問題世帯への対応
 - イ 参加者 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (4) 1月
 - ア 内容 事例検討会
 - イ 参加者 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (5) 3月12日
 - ア 内容 令和3年度介護保険改正・介護報酬改定の概要
 - イ 参加者 37名（介護保険事業所）
- (6) 3月19日
 - ア 内容 令和3年度介護保険改正・介護報酬改定の概要
 - イ 参加者 28名（居宅介護支援事業所）
- (7) 3月26日
 - ア 内容 令和3年度介護保険改正・介護報酬改定の概要
 - イ 参加者 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 医療と介護の連携

医療と介護の連携強化を目的に、市と天童市東村山郡医師会との合同研修会を開催しました。また、在宅医療を希望する方の相談窓口として、天童市東村山郡医師会と連携を行いました。

- 1 天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会
 - (1) 期日 11月18日
 - (2) 内容
 - ア 報告 在宅医療・介護連携室「エール」の活動状況について
 - イ 講演 神経難病患者の長期療養を支える医療・介護・薬学の総合
講師 国立病院機構山形病院院長 川並 透先生
 - (3) 参加者 65名
 - ア 介護保険事業所 36名
 - イ 医師会 7名・歯科医師会 4名・薬剤師会 4名・事務局 3名
中山町 3名
 - エ 行政 8名
 - オ 地域包括支援センター 5名
- 2 在宅医療・介護連携室「エール」との連携
 - 件数 1件（昨年度0件）
 - ア 医療 0件（昨年度0件）
 - イ 歯科 1件（昨年度0件）

オ 地域包括支援センター間の連絡調整

市地域包括支援センター間の活動報告や困難事例等の情報共有を行い、差異のない支援ができるように努めました。

市地域包括支援センター合同ミーティング

- | |
|---|
| (1) 開催回数 10回
(2) 参加者 保険給付課、地域包括支援センター（中央・めいこうえん） |
|---|

(3) 権利擁護事業

高齢者が様々な困難を抱えても、住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持し、安心して暮らすことができるよう、市や近隣住民、市民生委員・児童委員、介護支援専門員等の連携を図り、専門的・継続的な支援を行いました。

ア 消費者被害の防止対策の推進

- | |
|--|
| 1 天童市地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回）
2 市消費生活センターとの連携（随時） |
|--|

イ 成年後見制度・福祉サービス利用援助事業の周知及び利用支援

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。精神や知的、認知症等の家族、身寄りのいない一人暮らしの方の相談対応を行いました。

成年後見制度申立支援件数 3件（昨年度8件）

ウ 虐待通報への対応

虐待の疑いのある相談内容を行政担当者に連絡するとともに、対応について協議をし、一時的な分離などの緊急対応を行いました。また、虐待等の通報の受付や内容の確認、実態把握の迅速化、養護者の支援のため他機関との連携を行いました。

虐待通報件数 延16件（昨年度延21件）

(4) 認知症施策の推進

市の委託を受けた認知症地域支援推進員が、権利侵害を受けやすい認知症高齢者対策として、認知症についての住民理解の促進に努めました。また、医療機関や地域の支援機関と連携を図り、認知症の人が住み慣れた環境で安心して暮らし続けることができるよう支援しました。

ア 認知症サポーター養成講座

認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する意識啓発に努めました。

認知症サポーター養成講座 4回 268名

- | |
|--|
| (1) 8月7日
ア 場所 県立天童高等学校
イ 対象 県立天童高等学校3年生
ウ 参加者 104名
(2) 10月15日
ア 場所 警察学校
イ 対象 初任科短期課程 |
|--|

- ウ 参加者 32名
- (3) 11月5日
 - ア 場所 天童タワー
 - イ 対象 第三地区民生委員・児童委員
 - ウ 参加者 20名
- (4) 2月7日
 - ア 場所 市立第二中学校
 - イ 対象 市立第二中学校2年生
 - ウ 参加者 112名

イ 認知症地域支援推進員活動の充実

市及び市地域包括支援センターめいこうえんに配置されている認知症地域支援推進員と定期的に会議を開催し、認知症の方が安心して過ごせる地域づくりのため、認知症ケアパス改訂の検討を行いました。

ウ 認知症初期集中支援チームとの連携

月1回、認知症初期集中支援チーム会議に参加し、認知症高齢者が適切な医療や介護サービス利用につながるよう、検討及び支援を行いました。

エ 認知症カフェの運営協力

認知症に係るすべての方を対象に認知症の不安や相談等を気軽にできる場及び情報交換の場として、市が毎週水曜日に開催している「あったかフェテンドウ」の運営協力支援に努めました。

オ 認知症事前登録申請代行

認知症等により、徘徊、または徘徊するおそれのある高齢者及びその家族を支援することを目的とした認知症事前登録事業への協力支援及び広報活動に努めました。

市地域包括支援センター中央エリア登録者数 55名（昨年度64名）

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

65歳以上の方々を対象に、その置かれている環境や心身の状況に応じて、必要性に合わせた多様なサービスが提供されるように努めました。

ア 介護予防ケアマネジメント

要支援に認定された方及び基本チェックリストで総合事業対象者に判定された方を対象として自立支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメント（ケアプラン作成）を行いました。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 介護予防ケアマネジメントA 2,077件（昨年度2,105件） |
| (1) 策定機関 |
| ア 本会 1,657件（昨年度1,714件） |
| イ 委託先 420件（昨年度391件） |

(2) 対象サービス

ア 訪問型 A・通所型 A (独自型) 2, 0 0 4 件 (昨年度 2, 0 4 3 件)

イ 通所型 C (コツコツ運動教室) 7 3 件 (昨年度 6 2 件)

2 介護予防ケアマネジメント B 8 5 件 (昨年度 1 1 5 件)

(1) 策定機関

ア 本会 8 5 件 (昨年度 1 1 5 件)

(2) 対象サービス

ア あっぱれ元気教室 6 3 件 (昨年度 5 7 件)

イ ショッピングリハビリ 2 2 件 (昨年度 5 8 件)

3 一般介護予防事業 (さわやか健康教室)

一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し、さわやか健康教室を開催しました。

(1) 企画 4 講座 (昨年度 1 0 講座)

(実施 2 講座、中止 2 講座；新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(2) 参加者 5 1 名 (昨年度 2 1 8 名)

(3) 内容

ア 歌謡曲に合わせて楽しく運動

イ マスターしよう 3 1 の動作 ～日本で最初の健康体操～

ウ 自分の身体は自分でコントロール (中止)

エ アロハ みんなでフラしようよ！～フラダンスで自分磨き～ (中止)

(6) 指定介護予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサービスの利用のためのケアプラン作成を行いました。

ア 給付管理の適正化

要支援 1・2 の認定を受けた方や家族と相談しながら、自立に向けた目標を設定し、適切な介護予防プランの作成・評価に努めました。

イ 業務委託環境の整備

要支援 1・2 の認定を受けた方の心身の状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方については、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

予防プランに伴う請求件数 1, 5 7 2 件 (昨年度 1, 5 5 2 件)

(1) 本会 9 9 8 件 (昨年度 9 3 8 件)

(2) 委託 5 7 4 件 (昨年度 6 1 4 件)

(7) 在宅高齢者訪問指導事業(すこやか訪問)

市の委託を受けて、介護保険の認定を受けていない 7 5 歳以上の単身高齢者世帯を対象に生活習慣予防や閉じこもり予防、寝たきり予防等について、訪問等により健康状態や生活の様子などを確認し、市の高齢者生活支援事業等の紹介を行いました。

また新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出や介護サービスの利用を控

える高齢者が多い中、安否確認と廃用症候群予防の呼び掛けを兼ねて、新たに一人暮らし高齢者緊急訪問事業を実施しました。

- | | | |
|---|--------------|------|
| 1 | すこやか訪問対象者数 | 50名 |
| 2 | 緊急すこやか訪問対象者数 | 138名 |

(8) 実習生の受入れ

将来、医療・福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、市地域包括支援センターの業務に対する理解と人材育成を目的として受け入れを行いました。

- | | | | |
|---|-----------------------|----|-----------------------|
| 1 | 山形大学医学部看護学科実習生 | 2名 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
| 2 | 県立保健医療大学保健医療学部看護学科実習生 | 2名 | |

5 介護サービス事業所の運営

(1) 天童市居宅介護支援事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業の実施

法令の定めに基づき、要介護者や要支援者のケアプラン作成における適切な件数の遵守及び特定居宅介護支援事業所の指定の維持を図り、質の高い支援の提供と業務管理体制の整備に努めました。

※作成件数は、月の作成数の累計です。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 作成件数 | 1, 191件（昨年度1, 083件） |
| (1) 居宅介護支援 | 1, 077件（昨年度939件） |
| (2) 予防介護支援・総合事業 | 114件（昨年度144件） |

イ 介護保険に関する各機関との連絡調整及び手続代行

コロナ禍の状況にあっても、病院や施設から在宅生活への円滑な移行を目指し、利用者の状況に応じた環境の整備や相談対応により連携を図りました。また、地域包括支援センターをはじめとする関係機関との連携強化や連絡調整、研修会参加によりスキルアップを図り、利用者へのより良い支援に努めました。

- | | | |
|---|-----------|------------|
| 1 | 事業所内会議の実施 | 週1回 |
| 2 | 打合わせ | 全日 |
| 3 | 研修会への参加 | 6回（昨年度11回） |

ウ 要介護認定調査事業

市の委託事業として、担当する利用者の申請手続き代行を適切に行い、心身状況や生活の様子等を正確に反映する認定調査に努めました。

- | | | |
|---|----|-------------|
| 1 | 市内 | 59件（昨年度89件） |
| 2 | 市外 | 1件（昨年度2件） |

エ 他法人の居宅介護支援事業者との共同事例検討会及び研修会の開催

市内の他法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で研修会等を開催し、特定事業所の指定の維持を図ると共に、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

3 回開催（昨年度 3 回開催）

オ 実習生の受入れ

特定事業所の算定要件として介護支援専門員実務研修受講者の実習を受け入れ、ケアマネジメントの実践現場や多様な要介護者の生活実態を知る事を目的として、指導に努めました。

1 実習生 2 名
2 実習期間 3 日間

(2) 天童市訪問介護サービス事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標に近づけるようなサービス提供を目指しました。特定事業所の指定の維持を図るために月 1 回の会議を行い、利用者の情報の共有を図ると共に提供する介護サービスの質の向上に努めました。

※利用者数は、月の利用者の累計です。

利用者数 5 9 7 件（昨年度 4 2 4 件）
(1) 要支援・総合事業 2 8 2 件（昨年度 1 6 2 件）
(2) 要介護 3 1 5 件（昨年度 2 6 2 件）

イ 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業、同行援護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者毎のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を行いました。特定事業所の指定の維持を図るために、介護保険同様月 1 回の会議を行い、サービスの質の向上に努めました。

1 利用者数 3 7 2 件（昨年度 3 9 1 件）
2 実契約数 4 7 件（昨年度 4 5 件）

ウ 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

市からの委託事業として屋外移動に支障がある障がいを持つ方を対象に、地域活動や社会参加のための外出援助を行いました。

1 利用者数 8 件（昨年度 1 4 件）
2 実契約数 4 件（昨年度 3 件）

エ エンゼルサポーター派遣事業の実施

市からの委託事業として、双子以上を養育している保護者に対し、安心して子どもを産み育てられる支援を行いました。

1 利用者数 6 件（昨年度 1 3 件）

2 実契約数 1 件（昨年度 2 件）

オ まごころ支援事業(自主事業)の実施

介護保険、障害福祉サービス事業等にも該当しない方々に対して、本会の自主事業を利用することによって、安心して在宅生活が続けられる支援に努めました。

1 利用者数 28 件（昨年度 38 件）
2 実契約数 8 件（昨年度 7 件）

カ 養育支援訪問事業の実施

市からの委託事業として、保護者に対して安心して養育できるよう育児、家事援助の支援を行いました。

1 利用者数 11 件（昨年度 12 件）
2 実契約数 2 件（昨年度 2 件）

キ 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

県立天童高等学校

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) 前期実習生（3 年生） | 0 名（昨年度 20 名） |
| | 新型コロナウイルス感染蔓延のため実習中止 |
| (2) 後期実習生（2 年生） | 21 名（昨年度 13 名） |

ク 天童市内訪問介護サービス事業所情報交換会の開催

市内の訪問介護サービス事業所全体が抱える課題や現状を確認して意見を集約し、行政機関に理解を求めると共に、今後について意見交換や情報の共有を図りました。

1 回開催（昨年度 1 回）

ケ 運営会議の開催

訪問介護サービス事業所の運営継続のため、安定した経営や人材確保、処遇の改善等について本会一体となり定期的な会議を開催し検討を行いました。

4 回開催（昨年度 4 回）

6 天童市総合福祉センターの管理・経営

(1) 施設等の貸出

ア 福祉関連の事業、団体を優先にした貸出実施

福祉関係団体については 2 ヶ月前、福祉関係以外の団体については 1 ヶ月前から予約を開始し、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に安全に安心して、利用いただけるよう効率的な貸出に努めました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内手すりや貸出物品等の消毒

及び消毒液等の設置、三密を避けるために利用人数を制限する等、利用者へも感染予防策の周知徹底を行いました。

- | | | |
|-----|-------|--------------------------|
| 1 | 利用団体数 | 2, 406 団体（昨年度 3, 466 団体） |
| (1) | 市関係 | 368 団体（昨年度 526 団体） |
| (2) | 福祉関係 | 1, 785 団体（昨年度 2, 452 団体） |
| (3) | その他 | 253 団体（昨年度 488 団体） |
| 2 | 利用人数 | 21, 308 人（昨年度 48, 433 人） |
| (1) | 市関係 | 3, 502 人（昨年度 10, 994 人） |
| (2) | 福祉関係 | 13, 551 人（昨年度 27, 865 人） |
| (3) | その他 | 4, 255 人（昨年度 9, 574 人） |

※天童市総合福祉センターの利用状況の詳細は別表 1 に記載

イ 抽選による受付実施

毎月の予約開始日に予約抽選会を開催し、平等な受付に努めました。

- | | |
|---|---|
| 1 | 抽選日 |
| | 毎月 1 日（1 日が土・日・祝日の場合は、次の平日となり、1 月のみ 5 日とし、1 月 5 日が土・日・祝日の場合は、次の平日）の午前 9 時 |
| 2 | 抽選会参加団体 |
| | 約 15 団体 |

ウ 備品貸出事業の実施

無料で備品の貸出しを行い、地域福祉や地域活動の振興等に努めました。

- | | | | |
|---|------------|------|----------------|
| 1 | 車イス | 貸出回数 | 11 回（昨年度 51 回） |
| 2 | 輪投げ | 貸出回数 | 3 回（昨年度 8 回） |
| 3 | 外用いす及びテーブル | 貸出回数 | 2 回（昨年度 12 回） |
| 4 | グラウンドゴルフ用具 | 貸出回数 | 2 回（昨年度 8 回） |
| 5 | 集会用テント | 貸出回数 | 1 回（昨年度 8 回） |

(2) 良好な環境整備

ア 日常点検及び定期的なメンテナンス等による施設の良好な環境整備

毎朝の総合的な施設・設備の点検や月 1 回の定期清掃、各設備等の定期点検を行い、故障箇所等の早期発見や修繕等の迅速な対応に努めました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気用ドアストッパーを設置する等「新しい生活様式」を実践するための環境整備を行いました。

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1 | 修繕箇所 |
| (1) | 看板灯及び学習室 LED 改修工事 |
| (2) | 3 階男子トイレ小便センサー及び排水管漏れ修理 |
| (3) | 2 階フロア誘導灯点検修理 |
| (4) | 屋内運動広場及び学習室ドアストッパー設置 |
| (5) | 機械室冷温水管漏れ修繕等 |
| (6) | 消火器格納箱交換 |

2 定期清掃

(1) 内容 全館のワックス塗布

(2) 回数 月 1 回

3 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底

(1) 利用者への「新しい生活様式」の周知、利用者名簿の提出

(2) 定期的な換気、マイクなど使用機器及び館内手すり等の消毒

イ 消防総合訓練や発電機の点検等による避難所開設及び災害発生時への対応準備

消火訓練等を行い防火体制の強化に努めました。

1 総合消防訓練等

(1) 4月20日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

(2) 10月19日

2 防火体制 防火対象物点検報告特例認定（平成30年7月28日から3年間）

3 発電機（2台）の点検等 月 1 回

ウ 効果的な経費の削減

暖房・冷房のこまめな調整や安全確保をした上での不要な照明の消灯、使用していないコピー機等の事務用機器の電源を切るなど、経費削減に取り組みました。

(3) 同好クラブ事業の内容充実

60歳以上の市民が趣味活動を通して、健康維持や仲間づくりを進められるよう同好クラブの運営を行いました。

ア 囲碁クラブ

1 開催回数 週 2 回

2 参加者数 約 20 名

イ コスモスダンスクラブ(社交ダンス)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中

ウ 手芸クラブ

1 開催回数 月 1 回

2 参加者数 約 15 名

エ 俳句クラブ

1 開催回数 月 1 回

2 参加者数 約 10 名

オ 将棋クラブ

1 開催回数 週 2 回

2 参加者数 約 10 名

カ 民踊クラブ

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 開催回数 | 月 2 回 |
| 2 | 参加者数 | 約 5 名 |

(4) 指定管理者制度への申請

これまでの天童市総合福祉センターの管理及び経営状態を精査し、また「第二次天童市地域福祉活動計画」が定める自助・互助・共助・公助と地域福祉推進を行う団体として、指定管理者制度への申請を行い、令和3年度から令和7年度までの指定管理者として決定しております。

7 法人組織の管理・運営等

(1) 法人組織の管理・運営

ア 理事会及び評議員会等の開催

定期的な理事会、評議員会を実施しながら、経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に努めました。

また、評議員を選任するための組織である評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

- | | | |
|-----|-----------------------------------|--------------|
| 1 | 理事会 | 3 回（昨年度 4 回） |
| (1) | 6 月 7 日 | |
| (2) | 9 月 1 6 日 | |
| (3) | 3 月 1 6 日 | |
| 2 | 評議員会 | 3 回（昨年度 3 回） |
| (1) | 6 月 2 5 日 | |
| (2) | 9 月 2 9 日 | |
| (3) | 3 月 2 4 日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議） | |
| 3 | 評議員選任・解任委員会 | 1 回（昨年度 1 回） |
| (1) | 6 月 1 3 日 | |
| 4 | 会長・副会長会議 | 3 回（昨年度 2 回） |
| (1) | 5 月 2 8 日 | |
| (2) | 9 月 1 4 日 | |
| (3) | 3 月 1 日 | |

イ 監事による監査の実施

監事による業務執行及び財産の状況の監査により、適正な法人運営に努めました。

決算監査	5 月 2 5 日
------	-----------

(2) 苦情解決の推進

苦情解決の推進のため第三者委員を委嘱し、組織体制の整備を図りながら、利用者の権利を擁護するとともに提供するサービスの向上に努めました。

苦情の件数 0 件（昨年度 0 件）

(3) 自主財源の確保

会員や社会福祉基金等の増強のため、広報チラシの市内全戸配布等を行い広報活動を推進しました。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1 会費<ul style="list-style-type: none">(1) 世帯数 16, 834 世帯（昨年度 16, 584 世帯）(2) 会費額 11, 783, 600 円（昨年度 11, 608, 600 円）2 社会福祉基金<ul style="list-style-type: none">(1) 件数 1 件（昨年度 1 件）(2) 金額 10, 000 円（昨年度 10, 000 円）3 共同募金<ul style="list-style-type: none">(1) 共同募金配分金 5, 119, 948 円（昨年度 4, 979, 252 円）(2) 地域福祉活動配分金 121, 857 円（昨年度 156, 659 円）(3) 赤い羽根寄付金付き自動販売機販売手数料 7, 679 円（新規） |
|--|

(4) 地域における公益的な取組の推進

社会福祉法人の責務として、社会福祉法に定められている日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方に対しての無料又は低額の料金で行う福祉サービスを積極的に提供しました。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1 たすけあい資金貸付事業 低所得世帯に対しての資金貸付（無利子）2 フードバンク・フードドライブ事業 ご寄付いただいた食品等を本会や NPO 団体等を通じて生活困窮者等へ提供3 まごころ支援事業 介護保険等に該当しない方への訪問介護サービスの提供4 法人後見事業 意思決定が困難な方の財産管理等を行い、権利を擁護する |
|--|

(5) 職員の資質向上及び福利厚生

ア 定例会及び係長等会議の開催

定例会及び係長等会議等を開催し、各係での連携を密にしながら、職員間の連絡調整に努めました。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">1 定例会<ul style="list-style-type: none">(1) 参加者 6 名（会長及び局長、次長、主幹、各係長）(2) 回数 月 1 回開催2 係長等会議<ul style="list-style-type: none">(1) 参加者 9 名（局長及び次長、主幹、各係長他）(2) 回数 月 1 回開催 |
|---|

イ 各種研修会への参加及び開催

外部で開催される研修会等への積極的な参加により、職員の資質向上に努めました。
また、独自に研修会を開催し、専門的な知識や技能等を高めました。

- | | | | | |
|-----|------------------------------|-----------------------|---------|------------------------------------|
| 1 | 内部研修会等 | 6回 | 94名 | ※定期的に開催する(8)(9)を除く
(昨年度11回258名) |
| (1) | 消防訓練等 | | | |
| ア | 消火訓練 | | | |
| (ア) | 期日 | 4月20日 | (中止) | |
| イ | 消防総合防災訓練 | | | |
| (イ) | 期日 | 10月19日 | | |
| (イ) | 講師 | 天童市消防本部 | | |
| (ウ) | 参加者 | 38名 | | |
| (2) | 新任職員研修会 | | | |
| ア | 期日 | 8月6日 | | |
| イ | 講師 | 本会職員 | | |
| ウ | 参加者 | 5名 | | |
| (3) | 健康講話とラージボール研修 | | | |
| ア | 期日 | 5月12日・14日 | (中止) | |
| (4) | 介護経営研修 | | | |
| ア | 期日 | 10月13日 | | |
| イ | 講師 | 介護労働安定センター派遣 | 中小企業診断士 | |
| ウ | 参加者 | 9名 | | |
| (5) | 介護サービス係研修会（精神障がい者の理解と対応について） | | | |
| ア | 期日 | 12月18日 | | |
| イ | 講師 | 訪問看護ステーションレント代表 | | |
| ウ | 参加者 | 20名 | | |
| (6) | 一般応急手当講習会 | | | |
| ア | 期日 | 2月9日・10日 | (中止) | |
| (7) | 福祉サービス利用援助事業生活支援員等研修 | | | |
| ア | 生活保護制度について | | | |
| (ア) | 期日 | 9月9日 | | |
| (イ) | 講師 | 市健康福祉部社会福祉課職員 | | |
| (ウ) | 参加者 | 9名 | | |
| イ | エンディングノートと成年後見制度について | | | |
| (ア) | 期日 | 2月8日 | | |
| (イ) | 講師 | NPO法人やまがた市民後見サポートセンター | | |
| (ウ) | 参加者 | 13名 | | |
| (8) | 居宅介護支援事業所会議 | | | |
| ア | 回数 | 51回 | (週1回) | |
| イ | 参加者 | 各回3名 | | |
| (9) | 訪問介護サービス事業所会議 | | | |
| ア | 回数 | 12回 | (月1回) | |

イ 参加者 各回 16 名

2 外部研修会等 ※オンライン研修含む

(1) 開催回数 120 回 (昨年度 275 回)

(2) 参加職員 268 名 (昨年度 530 名)

ウ 安全衛生委員会の開催や健康診断等の助成

1 安全衛生委員会

(1) 参加者 7 名 (鞍掛彰秀産業医、局長、次長、各係長他)

(2) 開催回数 6 回

2 インフルエンザ合同予防接種の実施、費用の助成

3 健康診断の実施